

(様式5)

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 12月 15日

事業所名 杜の風いろ葉

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・非常勤職員を増やし、必要時には1対1で支援できる体制を整えている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・賃貸の為、バリアフリー化は難しいが、段差マット等を用いたり、個々の荷物置き場を明確にするよう配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・毎回貴重なご意見をいただき、大変参考になっている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページで公開し、又、利用児保護者にも文書で通知している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・今後、外部評価を取り入れていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・最近では、オンライン研修を多く活用した研修を行っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・職員それぞれが持ち寄った情報を基にアセスメント会議を行い、計画作成の内容とリンクさせている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・事業所独自で改良を加えたアセスメントツールを活用している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援指示書を作成し、全職員が計画に沿った支援が行えるようにしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・小さな事業所なので、チーム一丸となって行う事が出来ている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・毎日の活動をしっかり打ち合わせ、シミュレーションまで行って工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・当日利用する児童の人数や、特性に合わせた活動内容を組み立てている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・ミーティングを行い、すべてを記録し全職員が共有できるような体制が出来ている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録をしっかりととり、支援の振り返りに活かす事が出来ている。	
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・遅くとも6か月に1回、又は支援内容が変わった都度、モニタリングと計画の見直しを行っている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・利用児の状況をしっかりと理解できている職員が参画している。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		・現在、医療的ケア児は利用していないが、今後、利用する場合には体制を整えていきたい。	
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		・現在、医療的ケア児は利用していないが、今後、利用する場合には体制を整えていきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・各機関が開催する研修や、会議に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		・職員のお子さんや、事業所近くの公園等で、地域の子供達と接する機会がある。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・毎日の支援内容を（LINEや連絡ノート等で）報告し、さらに気になる事等は直接保護者へ口頭で話をしている。 ・保護者からのお話や、相談内容についても正確に記録し、情報共有を行っている。	
保護者への説明	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		・ペアレントトレーニングは行っていないが、その他の方法でアドバイス等を行っている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・随時行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・保護者からの要望で父母会を希望しないという意見があった為、行っていない。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・迅速な対応を心掛けている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
責 任 等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・ホームページ内にイベント案内を公表している。又、保護者（会員専用）ページがあり、活動の様子も見るようになってきている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・十分に配慮している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・直接支援している職員が送迎を行っているので、保護者とのコミュニケーションがとれ、より詳しい情報の共有が出来るようになっている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・地域住民との交流も兼ねて、令和4年10月1日、2日にガレージバザーを行った。	
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・ホームページ内に保護者（会員専用）ページがあり、各種マニュアルを掲載している。 ・毎年、5月、11月に訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎年5月に研修を行い、5月と9月に定期訓練を行っている。新入社員が入社の都度研修と訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・年に1回以上の研修と、社外研修等への参加も行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・実際に対象となる児童はいないが、そのような状況になる場合の体制を整えている。	